|  |  |
| --- | --- |
| 響流の森　だより　（園長室だより）　　 | 平成 30年11月19日附属幼稚園　第14号発 行 者　八谷俊一郎 |
| **お相撲さんは大きーいなあ**　九重部屋の親方(元大関　千代大海)と二人のお相撲さんが、8日（木）に、保護者会三役さんや年長の河野さんのお世話で、幼稚園を訪問されました。園児の中には、相撲見学に行った子どももいるでしょうが、初めて目の前でお相撲さんを見た子どもたちは、大喜びでした。そして、何と言っても体の大きさに驚いていました。まわし姿のお相撲さんに対して「裸の格好して寒くないのですか？」の質問に、お相撲さんは、「筋肉をつけているから寒くないです」と優しく答えていました。子どもたちはなんとなくわかったような感じで、「へえー」また、緊張と恥ずかしさで質問はあまり出ませんでしたが、大きな体を見て「ご飯を何杯食べているのかな」と疑問を持つ子どももいました。年長さんは、少人数で直接、お相撲さんと相撲が取れるとあって、凄い興奮ぶり。お相撲さんに思い切りぶつかり、みんなで押してもびくともしないお相撲さん。前からだめなら後ろからと、後ろに回って懸命に押していましたが、やはりお相撲さんです。びくりともしません。年中、年少さんはそんな年長さんを見て、「ガンバレ！ガンバレ！」と力いっぱいの応援です。お相撲さんは、子どもたちの声援と年長さんの集団の力に負けて土俵の外に押し出されました。C:\Users\encho\Desktop\H30 写真\九重部屋来園\DSC_0269.JPG休憩時間に、お相撲さんが、「ここの幼稚園は礼儀正しいですね。私たちが押されて、線の外に出ると勝負がついたと理解し、それ以上押しません。よその幼稚園や小学校の子どもは、いつまでも押してくるので困りました。」ということでした。こんなところに家庭のしつけのよさや本園の教育の成果が出ているのかなと思いました。 | 園の愛唱歌、完成間近　作詞　松井五郎先生、作曲　池上ケイさん（うさぎ組　戸田　恵子さん）による園の歌が完成間近です。先にお知らせしましたように、松井先生は、本園の様子を実際に見られて、先生ご自身が抱いておられたイメージとほぼ間違いないことを確かめられて、作詞されました。　本園が大事にしている響流の森、響流の森の木々の間からこぼれる日差し、長い坂道、誰もが一度は親しんだ泥団子づくり、百年の森で探し回った虫やチョウ、そして草花などを、親しみのある言葉で歌詞に盛り込まれています。この詩に、池上さんが子どもが歌いやすいように優しいメロディーの曲を作っていただきました。そして、入園式や卒園式などの儀式で歌う伴奏や通常の保育時間に気軽に歌えるような伴奏、ジャズ風にアレンジした伴奏など編曲しておられます。教頭が、仮のピアノ伴奏譜をもとに、軽快なリズムで演奏しながら口ずさみ、これなら、うちの職員も直ぐに弾けるでしょうと話していました。歌詞については後日お知らせします。松井五郎先生、レコード大賞作詞賞受賞　作詞家の松井先生が、今年のレコード大賞作詞賞受賞というビッグ・ニュースが飛び込んできました。松井先生といえば、安全地帯やチャゲ＆飛鳥などの有名な歌手の作詞をされる先生で、子どもたちがよく歌っている「勇気100％」の作詞をされた遥か彼方の遠い存在の方というイメージでしか有りませんでした。しかし、今回、戸田さんのお世話で、本園を訪問され、直接お話を伺うことができたことで、すごく親近感を覚えました。レコード大賞作詞賞を受賞さ　　　　　C:\Users\encho\Desktop\H30 写真\松井五郎氏来園\030.JPGれた凄い先生が、本園の歌を作詞されたかと思うと一層、園の歌を誇りに思い、自慢したくなります。今回の受賞を　　　　　　　　　　　　　　　　みんなでお祝い　【左　作詞の松井五郎先生】　　したいと思いま【右　作曲の池上ケイさん】　　す。 |